

# 患者らの診療連携強化

## 病院や介護施設で情報共有

MMWIN

みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会（理事長・嘉数研二県医師会長）が運営する地域医療連携システム「みんなのみやぎネット・MMWIN（エムエムウィン）」は、病院をはじめ600近い施設が参加し、加入者数は3万5000人を超えた。同協議会や参加施設は、さらに多くの人に登録してもらうため、患者などへ呼びかけを行っている。

## 大崎市民病院はブース開設

MMWINは、県内の病院、診療所、保険薬局、訪問看護ステーション、介護施設などで扱われる医療情報や介護福祉情報を電子

化。加入者の病歴、アレルギー情報、検査結果、処方歴、入院時要約などの情報をコンピュータネットワーク上で共有する。受診歴や病歴などが参加施設や病院などが参加施設間で迅速、正確に伝わり、重複した薬や禁忌薬（別の薬を服薬中や妊娠中など条件付きで使えない薬）の処方や検査を防ぎ、介護福祉施設入所者が診察する際の日常ケア状況が正確に伝わる、などのメ

リットがある。情報共有施設は患者側が指定するため、それ以外の施設へ情報が漏れけとなることはない。総務省の「クラウド型EHR（医療情報連携基盤）高度化事業」で、MMWINも補助金交付先の一つに選ばれた。同様のシステムは全国各地にあるが、MMWINは全国最大規模。

2011年の東日本大震災の際、沿岸部を中心に多くの医療機関が被災した。大崎市民病院（並木

健二院長）は、2階エスカラーター付近に特設ブースを置き、午前9時から午後3時まで申し込みを受け付けている。昨年5月16日から6月末まで期間限定でブースを設置した際は、脳神経外科、外科、循環器科、腫瘍内科の外来患者を中心に医師たちが専用パンフを配りPRしたこともあり、1カ月半で通院患者や同行者など700人が登録。ことし1月からブースを常設化し、院内放送でも呼びかけている。ブースには「救急搬送時に使える仕組みにしてほしい」と大崎エリアの参加施設をさらに増やして「入院患者の退院後の経過も見られるようになれば安心」といった声が寄せられたという。

加入無料。参加施設で配布する申込書に必要事項を記入、提出すると、IDカードが後日送付される。18歳未満は保護者の同意が必要。家族が代理で申し込む場合など、健康保険証など身分証明書の提出が必要。自分で書けない人は、3親等以内の親族なら代筆できる。大崎市民病院への申し込みは、同病院の診察券が必要。



大崎市民病院のMMWIN特設ブース



へ興ろう！  
復張ろう！  
みやぎ

2011年の東日本大震災の際、沿岸部を中心に多くの医療機関が被災した。大崎市民病院（並木

健二院長）は、2階エスカラーター付近に特設ブースを置き、午前9時から午後3時まで申し込みを受け付けている。昨年5月16日から6月末まで期間限定でブースを設置した際は、脳神経外科、外科、循環器科、腫瘍内科の外来患者を中心に医師たちが専用パンフを配りPRしたこともあり、1カ月半で通院患者や同行者など700人が登録。ことし1月からブースを常設化し、院内放送でも呼びかけている。ブースには「救急搬送時に使える仕組みにしてほしい」と大崎エリアの参加施設をさらに増やして「入院患者の退院後の経過も見られるようになれば安心」といった声が寄せられたという。

加入無料。参加施設で配布する申込書に必要事項を記入、提出すると、IDカードが後日送付される。18歳未満は保護者の同意が必要。家族が代理で申し込む場合など、健康保険証など身分証明書の提出が必要。自分で書けない人は、3親等以内の親族なら代筆できる。大崎市民病院への申し込みは、同病院の診察券が必要。

問い合わせは同協議会事務局へ。電話0800(800)8828。通話無料。または同022(399)6880。

（2面に9日現在の県北部参加施設掲載）

加入無料。参加施設で配布する申込書に必要事項を記入、提出すると、IDカードが後日送付される。18歳未満は保護者の同意が必要。家族が代理で申し込む場合など、健康保険証など身分証明書の提出が必要。自分で書けない人は、3親等以内の親族なら代筆できる。大崎市民病院への申し込みは、同病院の診察券が必要。

問い合わせは同協議会事務局へ。電話0800(800)8828。通話無料。または同022(399)6880。

（2面に9日現在の県北部参加施設掲載）

